



志津南 news

志津南ホームページ
<http://shizu373.net>

発行
志津南学区まちづくり協議会
(事務局) 077-507-6496
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

まち協だより

第2回理事会 (平成26年6月7日)

- ①ホームページのアドレスを「若草ネット (wa-ka-kusa.net)」から「志津南ネット (shizu373.net)」に変更したのに伴い「広報活動規則」を改正する。
- ②「志津南学区地域支え合い送迎支援活動実施要領」を平成26年6月7日から施行する。
- ③社会福祉協議会・地域支え合い送迎支援活動費と、青少年育成委員会・子ども110番の家活動費の追加申請について承認。
- ④まち協会則・会計処理要領・広報活動規則を全戸配付する。若草・岡本西ブロック地区別活動に関するものは若草・岡本西ブロックに、若草地区に関するものは若草地区に全戸配付する。各種団体の会則等を含めたものは、各町内会の役員に配付して、改正があった場合は差し替えて引き継ぎしていく。装丁はフラットファイル形式とし、追加綴じ込みや差し替えができるようにする。なお、町内会会則・自主防災会規則は各町内会で配付する。
- ⑤地域ふるさとづくり事業については、次回理事会で議論する。



住みやすい町へ指標制定 行動計画を策定、具体化へ

志津南学区まち協理事会は6月7日、「志津南学区まちづくり指標」を制定しました。

このまちづくり指標は地域住民が主体となって、人びとが住み続けたいと願うまちづくりの姿を示し、継続一貫した取り組みを進めることを目的にしたもので、「憩いと安らぎがあり、誰もが安心して住み続けられるまち・安全・安心・交流のあるまちへ故郷のまち」を「めざす姿」として、掲げています。

今後はこの指標に基づき、目標とするまちづくりのための具体的な行動計画である「まちづくり行動計画」を策定、継続した活動を行うこととしています。

取り組みについては、次の6つの分野ごとに、それぞれ目標と推進方針を挙げ

- ていきます。
- 一、住民による地域自治
 - ▽目標 住民参画、住民主体の自立した自治のまち
 - ▽推進方針①まちづくりのプランを示し、方向のぶれない安心して暮らせるまちづくり②地域情報の共有化を推進し、住民同士のつながりを深め一体感のあるまちづくり③将来を担う子どもから経験豊富な高齢者まで幅広い人々が協働する地域力の高いまちづくり④各種団体の協力連携により総合的な活力を生み出して、地域で出来ることは地域住民で行う、自立した地域づくり
 - 二、地域福祉と健康
 - ▽目標 住民同士が助け合い、健康でいきいきと楽しく暮らせるまち、年代層に応じたスポーツの推進で元気に暮らせるまち
 - ▽推進方針①「おたがいさま」の精神でふれあいと安らぎがある福祉のまち、住み続けられるまちづくり②住民が支えあいいきいきと暮らせる環境づくり、みんなが集える憩いの場所づくり③日常の手助け支援要請などが福祉サービスに適切に結びつくよう情報を共有化(個人情報保護を前提に)し、支援できるネット
 - ワークの仕組みづくり④身近な場所で、年齢層に適したスポーツを推進し、健康に暮らせるまちづくり
 - 三、生活環境
 - ▽目標 緑に囲まれたゆとりある住居環境を維持し、清潔で気持ちよく暮らせるまち
 - ▽推進方針①安心して楽しめる美しく、清潔な公園環境の維持②高齢者や障害者等の弱者に優しい環境のまちづくり③パブリックスペースのゴミ拾い運動を推進し、ぽい捨てゴミのない清潔なまちづくり
 - 四、防災・防犯・交通安全活動
 - ▽目標 明るく安全で、人に優しく、安心して暮らせるまち
 - ▽推進方針①防犯活動を推進し、不審者のいない安心して暮らせるまちづくり②門灯、ポーチ灯の点灯等により、夜でも明るく安心感のある防犯のまちづくり③防災・避難訓練など自主防災活動を積極的に推進し災害に強いまちづくり④災害時避難支援活動に必要なネットワークなどを整備して支援を望まれる方が安心して暮らし続けられるまちづくり⑤交通安全の積極的な展開で子どもや高齢者が

- 安心して歩けるまちづくり
 - 五、教育・文化
 - ▽目標 子どもを健やかに育み、学び合うまち
 - ▽推進方針①地域の歴史文化や知恵の継承を推進し、活動を通して年代を超えたふれあいのあるまちづくり②地域住民による青少年の健全育成に努め非行のないまちづくり③自主教室、サークル活動の活性化により、ふれあいを深め楽しい人生が過ごせるまちづくり
 - 六、ふれあい活動
 - ▽目標 楽しい思い出の詰まった故郷づくり
 - ▽推進方針①ふれあい夏祭り、左義長、ふれあいスポーツ祭りなど、地域が一体となったふれあい活動を中心とした故郷づくり
- ☆朝9時まで自宅前へ

資源回収

- 7月20・8月3日 若草一丁目〜五丁目
- 7月27日・8月10日 若草六丁目〜八丁目
- 岡本町西
- 7月26日・8月9日 かがやきの丘
- 回収品
古新聞(チラシも可)
古雑誌・段ボール・古着

3町内会が初の防災訓練 放水や救出器具の取り扱いも

若草3、4、5丁目町内会 時間、若草中央公園で行わ
合同の自主防災訓練が6月 れました。湖南南消防署指
22日午後1時30分から約2 導員により実施された訓練
×ニューは4種類、
参加者は62名でした。
最初は消火器取扱
訓練。「火事だ」と叫
び火元に近づきピ
ンを抜く。燃えている
火元の下方方向にホ
ースを向けレバーを強
く握りながら下から
上へ左右に振りなが
ら噴射させて消火す
る。
誰もが一度は体験
している筈ですが



2人がかりで放水する

やってみると戸惑う方も見
られるものの改めて全員で
手順を体験しました。
次は消火栓取扱訓練。20
mのホースをボウリングの
要領で転がしホースを伸ば
す手順、伸ばしたホースを
要領よく丸める手順を習得
します(どちらも2名は必
要)。ホースを伸ばすのは簡
単でも丁寧に収納するのは
根気のいることです。
最後にホース収納庫に
入っている工具と接続の手
順説明があった後、3本の
ホースを実際につなぎ仮設
の消火栓を使っての放水体

まち協入門講座

志津南市民センターは6月14日、「まち協っ
てなに?～地域活動にすぐに役立つ～」と題し
た「まち協入門講座」を開催、まちづくりに関
心のある方や新しく役員になられた方たち22名
が参加しました=写真。

まず志津南市民センター木村所長が草津市に
おける「まちづくり協議会」に関し、この7月
から施行される「草津市協働のまちづくり条例」
について、その趣旨や



概要、まちづくり協議
会として認定される要
件などについて説明
しました。

続いて、「志津南学
区まちづくり協議会と
は?」のテーマで、当まちづくり協議会会長 中
原勝一さんが、昭和59年の若草町内会発足に始
まり、追分鴨田、コージーガーデン、かがや
きの丘が加入された現在に至るまでの経緯と、現
在の志津南学区まちづくり協議会の組織と活動
について話しました。

参加者からは、この4月より、地区まちづく
り協議会から学区まちづくり協議会へと移行し
たことで活動のやり方についての工夫など、活
発な意見交換が行われました。

注意するのは消火栓のパ
ルブを徐々に開いていくこ
と。「放水始め」「放水」と
伝令役が放水筒を保持する
二人に伝えることです。
実際に放水筒を二人で保
持しながら細く、高く、
低く水流を調整する時の圧
力は初心者でも扱えるもの
でした。
続いて各町内に配置され
ている救出器具取扱訓練。
災害時に使える各種救助工
具の取り扱い方法と応用策
の事例紹介があり、万一の
時に役立つ工具の存在を
知って心丈夫になりました。
最後は救出方法の事例紹
介です。町内には災害時要
援護者等の方がお住まいで
す。効率よく救出するのに
竹棒二本と毛布などを利用
し即席担架を作る、どこに
もある椅子に乗せ背と足を
持って運ぶなどの実践的方
法の紹介でした。
火災発生時に自宅にある
消火器で消す自助努力には
限界があります。近所にお
住まいの方は消防署に連絡
するのは無論、消火器を持
ち寄り大勢で消火にあたる。
できれば消防ホースをつな
ぎ消火栓を開いて放水によ
り消火にあたる(最低4〜
5名が必要)などの共助活
動が求められます。

その為にも防災訓練の内
容は一見簡単に思えますが
基本訓練を繰り返すことで
習熟しスムーズに実践する
ことが可能になります。今
後とも多くの方が毎回参加
される風潮になることを希
望します。

ホタル、光った!

志津南学区地域協働合校
推進委員会は6月7日、「ホ
タルに会いに行こう」を開
催、地域の小学生70名とそ
の保護者ら約150名が参
加しました。
参加者は午後7時に志津
南市民センターに集合。最
初に「ゲンジボタルの一生」
を見て、ゲンジボタルの生
態について学習しました。
次に若草二丁目の秋山久代



さんに「飛べないホタル」
という物語をお話して頂
き、優しさや思いやりの大
切さについて考えました。

すっかり日も落ちた7時
45分頃、ホタル観察のため
に伯母川沿いに移動しまし
た。草むらの中で光るホタ
ルを見つけては「みえた!」
「光った!」などと子どもた
ちの歓声が上がっていました
II写真。また、大人たち
からも「この地域にもホタ
ルが住むような自然が残っ
ているんですね」など感慨
深いな声が聞かれました。

この日、伯母川で見られ
たのは十数匹と、残念なが
ら乱舞する姿は見られませ
んでしたが、直前まで降っ
ていた小雨も止み、半月の
優しい月明かりに照らされ
ながら約一時間ほどの和や
かなひとときを過ごすこと
ができました。

地域協働合校推進委員会
では一緒に活動して下さる
スタッフを募集しています。
「児童の育成活動に興味があ
る」「子どもたちと一緒に楽
しむを見つけた」と思わ
れる方は、志津南市民セン
ターを通して当委員会まで
ご連絡ください。

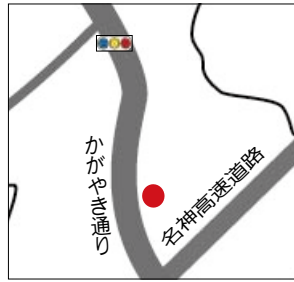
声かけパト開始

今年度「愛の声かけパト
ロール」は8月〜12月の土
曜日の夕方に、若草一丁目
〜八丁目、岡本町西、かが
やきの丘、コージーガール
ン、追分鴨田の各町内会の
役員の皆様にご協力いただ
き、各地区の公園、商業施
設をパトロールします。ま
た併行して、青少年育成委
員会による志津南学区全域
のパトロールを実施します。
青少年を取り巻く環境を
より良くしていくために、
皆様のご協力をよろしくお
願いします。

25年度町並み保全委員会は50件

若草地区町並み保全委員会に
平成25年度中に届出された工事
件数は次のとおりです。最も多
いのは屋根、外壁の塗装、続い
てガレージの増設でした。

申請内容	件数
屋根、外壁の塗替え	19
ガレージの増設等	10
外壁の塗替え	6
屋根の葺き替え	6
テラス等の増築	6
家屋の建替え	1
土間のタイル補修	2
合計	50



私たちは、かがやきの丘町内会の高齢者クラブ「なごみ会」です。
5月には若草・若寿会のみなさんに日帰りバス旅行にお誘いいただき大変ありがとうございました。
今回は私たちの町内会の概要と、なごみ会の活動について紹介させていただきます。

若さあふれる「なごみ会」



育児サークルとクリスマスロボ

町内会設立から四年目を迎えました。規模は現在320戸、若草・岡本西ブロックの3分の1程度です。活気に満ちた若い世帯と元気な高齢者が同居される家庭が大半で、子どもさんも複数いらっしゃる方を多く見受けます。その中で私たちなごみ会が昨年1月に20名で発足し、現在一年半が経過いたしました。年齢層は70歳前半が65%で達者な方たちに押され気味です。
活動の内容は歌声喫茶を中心に、趣味の学習として手芸と水彩画、加えて木彫りと紙細工が増え多彩な中で活動に励んでいます。
明るく、楽しくをモットーに和気あいあい、飲み物も全員コーヒー党で高齢の

ひと昔もふた昔も前、若草交差点から名神の陸橋、追分橋を越えると、外灯の明かりさえもうまばら。真っ暗とっていいほどだった。そのうち、ぼつりぼつりとお店が出始めた。やがてまたたくまにその数は増え、それにつれ当然のことながら周りは明るさを増した。全国あるいは広域展開の飲食店が多いが、古くからがんばっている“老舗”もある。こうして夜景を眺めると、なかなか幻想的。といえ少しオーバーかな。



レットルが剥がれる若さを感じています。
(なごみ会 山添)

ディスコンで準優勝

第17回草津市民スポーツ・レクリエーション祭が6月8日、野村運動公園で行われ、ディスコンの部に若草一味クラブを中心とした志津南AチームとBチームが出場しました。写真。



当日は快晴の真夏日で蒸し風呂のような体育館で熱戦を繰り広げました。
試合形式は1チーム6名の15チームが3ブロックに分かれ、各ブロック1位の3チームが決勝リーグを行い1~3位を決定します。
志津南AチームはAブロック1位で決勝リーグに進みました。
決勝リーグは前評判の高かった野村チームが早々に優勝を決め、志津南Aチームは1~3位を決定します。

志津南AチームはAブロック1位で決勝リーグに進みました。
決勝リーグは前評判の高かった野村チームが早々に優勝を決め、志津南Aチームは1~3位を決定します。

ムと渋川Bチームの準優勝争いとなりました。両チームとも互いに譲らず白熱した戦いとなりましたが、時間切れ引き分けとなり両チーム準優勝となりました。
志津南Bチームは勝ちあがりでしたが、Bブロック決勝で野村チームに敗れ、予選トーナメント2位に終わりました。
志津南Aチーム・Bチーム出場の14名の皆さんご苦労様でした。
来年こそは打倒野村チームを目指して、再チャレンジしたいと思います。(一味クラブ 田中優)

第2回やすらぎ講座

志津南市民センターのやすらぎ学級第2回講座が6月25日、同センター(公民館)で開催され、学級生28人が参加しました。写真。

「川柳を楽しもう!」と題し、昨年同様、よみうり文芸選者の笠川嘉一さんを講師にお招きしました。
学級生が事前に川柳を書



いた短冊を笠川講師に選考していただき、全95句の中から、天1句、地2句、人3句、佳作24句を発表、講評を受けました。
質問タイムでは拗音(ちゃ、ちゅ、ちよ等)や長音(ー)、伸ばす記号)の音の数え方や、四字熟語や諺についてなどの質問が飛び出し、レベルの高さに笠川先生も驚いておられました。
講話では「良い川柳を作るコツは自分の言葉と平易な言葉を選ぶこと」と指摘しました。

講座の後には、スポレクサークルと川柳サークルで短冊を七夕の笹に飾り付けました。
【天】 天地人の句は次の通り
美しき ドラマもなくて 老い迎え
【地】 小走りに 夜道を急ぐ
また女 いつまでも 往かぬ娘の 雛あられ
【人】 狭き門 通って見えた 青い空 春一番 猫に負けない 恋したい せんざいを 炊いて人待つ 顔になり

劇で虫歯予防



志津南学区健康推進員連絡協議会は6月11日、志津南市民センターでエプロン劇を開催、虫歯予防を訴えました。写真。

志津南学区民生委員・児童委員協議会の協賛で「おやっこ」・「ひよっこ」・「きりりん」の親子40名(未就園児22名)が参加しました。

6月は「虫歯の予防月間」これにちなんで「はみがき

こよみ

- 7月19日(土) 健康ウォーキング
7月22日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会
7月26日(土) 第17回ふれあい夏まつり
8月1日(金) ふれあい昼食会
8月2日(土) 健康ウォーキング
8月2日(土)~3日(日) 南っ子宿泊体験
毎週金曜日 ふれあい喫茶

ができるかな、4つのおや

小さいときからはみがきを
する習慣を身につけるこ
との大切さを大きな口のワ
ニさんがはぶらしを使って
歯みがきする様子を見ても
りました。

「四つのおやっこ」では
①ジュースよりお茶を飲み
ます②好ききらいせずなん
でも食べます③寝る前おや
つを食べません④食べたら
歯をみがきます。

9月に人権研修会

人権教育推進委員会は現
地見学による人権研修会を
次のとおり開催します。
▽日時 9月6日(土)

9時~15時30分

▽集合 志津南市民セン
ター8時50分
▽会場 京都市ラッティ
千本と大徳寺
▽対象 志津南学区住民の
方

▽内容 京都市人権資料展
施設のソラッティ千本で
施設の見学を行い、人権問
題に関する見識を深めます。
▽定員 50人
▽締め切り 8月9日(土)
▽参加費 無料。昼食代は
各自で負担

受講生募集

志津南市民センターは志
津南シニアのついで事業と
して「まちづくりに役立つ
パソコン講座」を次のとお
り開催します。
▽日時 8月30日(土)
31日(日)
13時~16時

宿泊体験募集

志津南学区地域協働合
校は「南っ子宿泊体験
2014」の参加者を次の
要領で募集しています。
▽テーマ 「キャンドル&竹
とんぼを作ろう!」
▽日時 8月2日(土) 12
時半~8月3日(日) 13時
▽対象 志津南小学校区在
住の小学4~6年生(30人)
▽場所 志津南市民セン

ター
▽参加費 600円
▽事前説明会(参加者と保
護者) 7月28日19時から市
民センターで

▽申し込み 7月5日9時
~19日17時まで。先着順。
詳細は、志津南小学校を

折々の記



た。私の小学一年生といえ
ば、昭和二十四年である。
その頃は今と全く違って、
日本全国草深い自然に恵ま
れた環境にあった。敗戦後
で何もない時であった。

神社の参拝を終え、その
帰り道で下校の子ども達に
出会った。横断歩道で立ち
止まっていると、ひとりの
男の子が近づいて来て「こ
れあげる。笹舟というねん
水に浮かぶよ。先生にならっ
たん。」と言って私の手に乗
せるや否や横断歩道を渡っ
ていってしまった。

野草と遊ぼう

手の上の
笹舟も田ん
ぼに曳き入れる用水に浮か
べて遊んだ。花が終わった
タンポポの綿毛飛ばし。
タンポポの茎を筒状にし
て、両端に切り目を入れる
と、表皮が巻き上がる。これ
に木の枝を軸にして流れに
入れてやるとタンポポ水車。
タンポポの茎の一端をつ
ぶし平にし、その部分をく
わえて吹くとタンポポ笛。
イタドリは食べたよりもし
たが、茎の部分を筒状にし、
および子育てをして欲しい
ものです。(T・I)

通して配付する案内、また
は町内会回覧をご覧ください。
22日からラジオ体操
志津南小学校PTAは
夏休み期間中の早朝ラジオ
体操を次の日程で行います。

所定の場所、時間に集合し
てください。
▽7月22日から8月11日ま
で(午前7時30分から)
▽8月17日から8月23日ま
で(午前7時30分から)
ただし、土日はお休みです。
多数で参加ください。